

市長への手紙 ご意見とその回答(令和7年10月)

質問	<u>GWと年末年始の、ゴミ収集お休みの貼り紙について</u>
	<p>GWと年末年始のごみ収集お休みに関する貼り紙についての意見です。</p>
	<p>令和3年度までは市の委託で集収業者が各集積所の看板に貼り付けと撤去を行なっていたものが、今は自治会対応になっております。</p>
	<p>それについて、市が対応していた案件を自治会が代わりに行っているのはおかしいのではないかとのご意見が、毎年5月に開催される住民自治組織連絡協議会総会において、2年連続で上がっておりまます。</p>
	<p>生活環境課の説明ですと、りゅうほーに収集お休みの情報を載せるようにしたので貼り紙に関する業務を委託項目から削除したとのことです。</p>
	<p>しかし、りゅうほーに載せるだけだと収集お休みの周知が徹底されず、ごみが捨てられ山になっている状態が散見されるので、仕方なく自治会で代わりに貼っているのが実状です。</p>
	<p>やり方を変えてうまくいかなかったのなら、一旦変更前のやり方に戻すのが本来のあるべき姿だと思うのですが、生活環境課職員の全会一致で引き続き自治会で対応してもらおうという意見でまとまったとの事です。</p>
	<p>自治会は市にとって、お願いすれば無償で何でも引き受けてくれる団体だと思われてはいないでしょうか。これでは自治会の入会にメリットを感じず加入率が下がるのは当然だと思います。</p>
	<p>市長はこの件が、担当課において全会一致で自治会対応で決定する現状をどうお考えになられますか？</p>
回答	<p>この度は、ゴールデンウィークや年末年始のごみ収集休止期間中のごみ排出についてのご懸念と、市の周知方法の変更により自治会の皆様にご負担をおかけしている点についてのご意見を拝読いたしました。</p>
	<p>ご指摘のとおり、これまで収集業者を通じてごみ集積所に掲示していた休止のお知らせは、ごみの減量化と環境負荷の軽減を目的に、令和3年度で終了いたしました。掲示後は大量の廃棄物となってしまう掲示物（貼り紙やビニールカバー）を削減するため、現在、市では広報紙「りゅうほー」や市公式ホームページ、メール配信サービス、市公式SNSなど様々な情報発信手段により周知に努めているところです。</p>
	<p>まずは貴自治会が自主的に掲示を続けてくださっていることに心より感謝申し上げます。一方で、市の周知が十分に行き届かず、一部のごみ集積所で問題が起きていることは課題として認識しております。</p>
	<p>掲示物を再び導入することは、環境面への配慮から現時点では想定しておりませんが、市としましては新たな周知方法の検討を進めてまいりたいと考えております。</p>
	<p>また、「自治会はお願いすれば無償で何でも引き受けてくれる団体であると思われていないか」というご指摘を重く受け止めております。</p>

お知らせや連絡事項で、広報紙「りゅうほー」や市公式ホームページ、メール配信サービス、市公式SNSなどでの周知に加え、視認性が高く、より効果的に市民の皆様、地域住民の皆様にお知らせしたい取り組みや連絡事項などがある場合に、自治会を通しての回覧や周知をお願いし、多くのご負担をお掛けしておりますことにお詫びと、そのご協力に改めて感謝申し上げます。

自治会は、防犯や防災、地域行事等を通じて住みよい地域社会をつくるための重要な基盤でございます。

市長として、本来の目的達成のためにより活発な自治会活動が展開されますよう、市からの自治会へのお願い事などの在り方について整理させていただきたいと考えております。

今後とも、本市政へのご理解と地域課題の解決に向けたご協力をお願い申し上げます。

【担当:生活環境課】

質問 先日、市民と議員の意見交換会に昨年に続き参加させていただきました。印象は市も議員も含め少子化対策、子育て支援にやっと本腰入れ始めたのかという感じがしました。

1年で30人減(320人から291人まで出生数減少)の出生数を見て驚きました。1年で30人減る計算ならば10年後には0人?なんて計算もできるくらい危機的状況です。

しかし、これが今まで龍ヶ崎市が対策講じてこなかった結果でもあると感じます。子供の居場所を含め、少子化対策のプランを立てていると思いますが、それを実行に移す頃には子供いないのではないですか?時遅しすぎやしませんか?

案を講じるのはいいですが、スピード感をもって実施しなければ意味がないと思います。すばやい財政改革も行い、他市よりも手厚い子育て支援を行わなければ、移住者も来ず、今住んでいる方でも龍ヶ崎で子育てしようなんて選択しないです。それが今の現状です。

市には手厚い子育て支援を何年以内に必ず実施できます、しますという確約を市民にしてほしいです。

また、長山コミセン、龍ヶ岡公園管理棟の「ここくれば」があることも今回の会に参加しなければ知りませんでした。なぜ子供の居場所を開設したことをりゅうほーの一部分だけではなく、市のLINEなどで宣伝しないのですか?これでは子供に寄り添っているんだか、いないんだかわからない市の印象のままではないですか?今後PRするのであれば、動画つきでどのような場所なのかが事前にわかる方が子育て世代にはありがたいです。

また、最後違う件にはなりますが、多胎妊娠への健診助成について市のHPに記載されていないと思うのですが、もし本当に記載されていな

	いのであれば記載していただいた方が多胎家庭にもありがとうございます。よろしくお願ひします。
回答	<p>ご指摘をいただきました「ここくれば」につきましては、子育て支援環境の更なる充実を図るために開始した、新たな子どもの居場所・遊び場事業でございます。</p> <p>本事業は、本年7月22日より長山コミュニティセンター内図書室と龍ヶ岡公園内管理棟の2か所に開設し、地域の子どもたちが気候や天候にかかわらず自由に集まり、安全で安心して過ごせる場所を提供させていただいております。</p> <p>なお、長山コミュニティセンター内の「ここくれば」では、図書室の一部を活用していることから、スペースに限りがあり、原則として利用者を地域の小学生を対象としております。そのため、周知を市広報紙と市公式ホームページによる掲載とさせていただいておりますので、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>次に、本市の多胎妊婦への健診助成につきましては、母子健康手帳交付時に助産師・保健師との面談の際や、産後の育児等に関する相談時に個別で情報提供を行っているところですが、今後は更に周知を図るため市公式ホームページへの掲載を進めてまいります。</p> <p>本市では今年度から第3期子ども・子育て支援事業計画の施策として、「子どもの遊び場や居場所づくりの推進」を重点事項として掲げており、現在その実現に向けて取り組んでおります。今後も安心して子どもを産み、喜びをもって健やかに育てられるまちの実現に向けて、「ここくれば」の他地域への展開をはじめ、様々な施策や取組を着実に推進し、本市の子育て環境の一層の充実を図っていきたいと考えております。</p> <p>地域のニーズを踏まえながら、引き続き本市の実情に合った取組を検討してまいりますので、今後ともご理解を賜りますようお願い申し上げます。【担当:こども家庭センター】</p>